

## 令和4年度 第1回自己評価の分析

設問項目	肯定的回答 (%)			分析内容
	生徒	保護者	職員	
【設問1】 楽しい場	94	93	100	<p>生徒、保護者、職員とも肯定的な回答であった。生徒で見ると「そう思う」と回答した生徒が262名であった。これは、「ややそう思う」と回答した生徒167名を大きく上回り、全体の6割近くの生徒が学校は楽しい場所であるとはっきり回答したことになる。これは、1学期にコロナ禍ではあったが、運動会や修学旅行、校外学習などの行事が行われ、充実した学校生活を送れたのではないかと推測できる。</p> <p>しかし、「そう思わない」と回答した生徒が2名、「あまりそう思わない」と回答した生徒が27名いたので、個々に対して組織的できめ細やかな対応をさらに心がける必要がある。</p>
【設問2】 学校施設	95	94	82	<p>保護者、生徒とも肯定的な回答であった。きれいな校舎で各教室にエアコンがあり、生徒は快適に学校生活を送っている様である。職員に関しては、体育館が老朽化しておりトイレや床・照明などの改善が進まない点や、ICT機器特にGIGA関係の通信速度の遅さや、使い勝手が悪い点が、少しストレスとなる部分となり、肯定的な回答が8割程度にとどまっていると考えられる。市に現状を報告し改善を囑るとともに施設をきれいに保ち、大切に使用していくことが重要である。</p>
【設問3】 情報発信	91	91	100	<p>保護者に関して、昨年度は肯定的回答が79%であったが、今年度は91%と12%上がっている。学校便りの配付やホームページの更新、メール配信などの情報配信を好評価していただいたと考える。また、今回の学校評価アンケートを従来の紙媒体ではなく、Web配信で行った。今後も、積極的にデジタル化を行い、生徒や保護者のニーズに応えられるように努力していきたい。</p>
【設問4】 地域交流	57	56	62	<p>昨年度より肯定的な回答は増えたが、コロナ禍以前の様にはまだ戻っていないという点が大きい。例えば、PTA総会は開催せず、書面で決裁を行った。また、運動会は家族のみの参加で入場制限を行った。よって、地域とのつながりは、感染予防の観点から、以前の様に行えないことが現状である。</p>
【設問5】 いじめ防止	90	81	100	<p>生徒の回答を見ると、90%が肯定的な回答であった。これは設問1でも学校が楽しい場であると答える生徒がほとんどであった様に、学級や部活動など安心して生活できる場があるということだと推測できる。また、いじめゼロ学活や教育相談、いじめアンケートなど、いじめを防止する取り組みが計画的に行えている。ただ、一人一人を見ていくと、対人関係のトラブルなど問題を抱えている生徒もいる。今後も組織的にいじめを防止していく努力を継続していくことが必要である。また、いじめ防止に関し家庭との協力関係を築いていくことも重要である。</p>
【設問6】 わかる授業	96	83	100	<p>生徒の回答を見てみると、「そう思う」と回答した生徒が、1年生は59.4%、2年生は63.9%、3年生は48.4%であった。3年生は各教科とも難しい内容が増えてきていることと受験を目前に不安な気持ちもあって数値が低いと推測される。ただ、「ややそう思う」も含めるとどの学年も90%を超えている。保護者に関して授業参観が例年のおこなっていないので、実態を把握しづらいという点で、肯定的な回答が83%であったと考えられる。学力向上に向け各教科でしっかりと研修を行い、実践していけるよう取り組んでいく。</p>
【設問7】 誠実な相談活動	92	87	100	<p>保護者、生徒ともに肯定的な回答であった。設問3情報発信でも好評価だったように、生徒への連絡、保護者への連絡をこまめに行っているという一定の評価ではないかと考える。ただこれは大きな問題が今学期はたまたまなかっただけかもしれない。今後とも生徒や保護者との関わりを大切にして、信頼関係を獲得する努力をしていかなければならない。</p>

設問項目	肯定的回答 (%)			分析内容
	生徒	保護者	職員	
【設問8】 生徒理解 公平な評価	90	84	100	保護者の回答を見てみると設問6と同じように肯定的な回答が80%前半である。1学期は1回の定期テスト(5教科)で通知表も5教科の評価のみの通知であるから、保護者としてわかりづらいところもあると思われる。職員としては、しっかりと準備し年間指導計画を確認しながら適切で公平な評価をして、説明がしっかりとできるように取り組んでいく。
【設問9】 教育環境	95	93	91	保護者、生徒ともに肯定的な回答がほとんどであった。昇降口などに部活動の入賞記録の掲示や、各フロアの掲示物など、生徒の努力を讃えるものが多く掲示されている。一方で、教室や学年室、特別教室などの掲示物や環境整備など、まだまだ改善できるところがあると思うので、毎月の管理場所安全点検を確実に、修繕できるところは迅速に直していくよう努力していく。
【設問10】 授業への取組 ・時間を守る	94	96	97	遅刻して登校してくる生徒もごくわずか、時間を意識して行動する生徒がほとんどである。ただ、ある場面では、行動が遅い生徒がいて、スタートに遅れることがある。特に下校の時は、最終下校時刻ギリギリに急いで校門を出る生徒も少なくない。時間を意識させることを、更に徹底できるように学校全体で取り組んでいきたい。
【設問11】 交通ルールを 守る	97	87	59	今年度も交通安全についてはその都度指導をしている。また、生活委員長が放送による呼びかけを行っている。生徒のアンケートはほぼ全員が交通ルールを守っていると回答している。しかし職員の肯定的な回答が59%と低い数値となった。生徒が安全に登下校できるように指導や呼びかけの方法を改善工夫努力していく。
【設問12】 元気なあいさつ	92	84	85	今年度も生活委員会によるあいさつ運動を行い、東金中のスローガンである「あ・じ・み・そ」の「あ」あいさつを活発に取り組んでいる。マスク着用や大声を出すことへの抵抗を持っている生徒や保護者もいるが、社会生活を営んでいく上で重要であるあいさつが、さらに定着して習慣化するように今後も継続的に指導していく。
【設問13】 身だしなみ	95	98	100	昨年度同様、生徒・保護者・職員とも9割を上回る結果となった。生徒の規範意識の向上や家庭での理解・協力が、服装や身だしなみにあらわれている。今後も清潔感のある中学生らしい身だしなみで生活できるよう指導を継続していく。
【設問14】 清掃活動	94	95	79	清潔な環境を意識し清掃活動に積極的に取り組む生徒が多い。今後もきれいな学校で学習できるように職員による率先垂範を心がけながら、生徒が公共心や勤労の精神をもって意欲的に清掃活動に取り組むように指導していく。
【設問15】 保護者の参加	89	90	97	今年度は、3年ぶりとなる観客を入れての運動会を行うことができた。また、部活動においても、総合体育大会などでは一部を除き、観客を入れて行われた。コロナ禍以前のように戻っていないが、保護者が学校行事に参加し、学校でどのように取り組んでいるのかを知ってもらうことは大変重要なことだと思えるので、今後も保護者が参加できる行事を工夫して行っていく。